

## ○ 第4回ワークショップ

■日時：令和2年12月20日（日） 10:00～12:00

■会場：西播磨総合庁舎

■参加者：19名

### 【当日プログラム】

10:00～ あいさつ・本日の説明

10:05～ 前回の振り返り、作業の説明

10:25～ 【個人ワーク】30年後の未来「こうなったらしい西播磨」について考え方を出す

11:05～ 【意見交換】個々の意見に共感するものに投票し、未来予想図のすり合わせをする

11:25～ 【意見交換】提案された意見をカテゴリに分類する

12:00 終了

### 【当日の内容】

過去3回のワークショップを踏まえ、改めて30年後を見据えて「こうなったらしい西播磨」をもう一度意見を出し合いました。出された意見について主なものを取り上げ、参加者からそこに込めた思いや詳しく説明をしてもらいました。過去3回のワークショップを通じて、その上で示された「こうなったらしい西播磨」の意見は、1回目の意見と異なり、「“負”と思うものに挑む“まち”」「すごいな、面白いなを majime に実現」「帰りたくなるふるさと」など、都会にはない田舎の良さを魅力ととらえ、30年後の新たな「田舎」像を描いた意見、広い視野で具体的な未来像についての意見が出され、どれも共感することができ西播磨の将来像を共有できていると認識しました。多く投票された意見を軸にキャッチコピーの作成のもととなる案の検討を行いました。ビジョンに取り上げたい意見をピックアップするため、1人3つまでの投票も行いました。キャッチコピーの作成をしやすいように、出された意見のテーマが近しいものに仕分けしていましたが、同じような主旨と思われた意見も、記載した人に思いを聞くと異なっていたり、またその逆もあったため、テーマ分類に思いのほか時間がかかりました。30年後も西播磨は西播磨らしくありたいという思いと、この地域だからこそその地域像が描かれていた意見を取り入れ、西播磨らしいキャッチコピーの作成を目指したいと思いを共有しました。



【西播磨の食文化を大切にしたい】	【いろんな人が活躍できる地域】	【西播磨を知ってほしい】	【すてきな田舎を目指す】	【IT情報技術の推進】	【豊かな自然を生かす】
あるものを生かして自給自足の生活ができる ●●	エゴからエコの町を (エゴのごみをとったらエコになります) ●	修学旅行の定番地域 ●●	未来を拓く新しい田舎づくり ●●	播磨科学公園都市を核とした最先端なまち 西播磨 (ドローン、自動運転の積極的な活用) ●●	・お金が稼げる自然資源をつなげる ●●● ●
お米や野菜は安全で安心して食べて美味しいのがいい ●●	帰りたくなる故郷 (小中学校=思い出作り、高大=世界を見る、成人=専門分野で活躍) ●●●●	西はりまのPR作戦。イメージがうすい。 発信力不足。良いところだけを集中してまとめて、専門家にPRしてもらう ●●	ほどよい田舎。 ある程度便利で自然がある生活がいい ●●●	新たな技術・情報を心良く受け入れられるまち西播磨 (デジタルトランスフォーメーション推進、ICT導入、SNS積極活用) ●●●	・ゆったりできるように時間におわれない物にとらわれない自分に合ったもので自由にくらす ●●●
体験できるしょうゆづくり、塩づくり ●	人の想い行動に裕度(許容)ある“まち”	西播磨以外の地域の方との交流が盛んになる取り組み (ワーキングホリデー・WWOOF) を進める (特に若者) 若者に西播磨を知ってもらう ●●	不便を楽しめる所	IT技術を利用したリモートによる生活・子育てに不安がなく暮らせる地域 ●●	人口転出減少→活力あるまち作り。多文化が広がる環境作り (自然破壊防止)
発酵文化	個人のプライバシー、人権等を主張するのではなく、助け合いこそが日本人の本分であるという様に、そういう地域にしたいと思う	光都ゾーンに「企業誘致」! 人口減少・労働力不足→資源をまとめる 高齢者対応・交通を利便に・医療・介護施設 ●●	共助が守る田舎 (公助にたよれば共助が育たない) ●●●	IT技術を利用した地産地消による安心・安全な農業地域	人と自然が生き生きとして調和のとれた西播磨 ●
	女性が輝く地方 (出る杭は打たれる、出すぎた杭はうたれない) ●●●	地域の為の勉強ができるドローン学校	豊かな自然の恵を乳幼児から老人までが受け、田舎に誇りを持つ生き方ができる 西播磨 ●●		気候は温暖で住みやすい。衣食住のうち食だけでも自給自足の出来る地域に!例えば、全世界に野菜の種を魅了配布し、土地のない人には行政があっせんしてやるとか ●
	若者、子育て世代が住みやすいまち西播磨。慣例、伝統を若者たちに受け入れられるようになられる地域でありたい ●●	じまんできる世界一のもの (spring-8,天文台なゆた) 上手に広げる ●	個から公への想いを未来へつなげる“まち” (公とは、おとなり、地区、まち)		川でつながる道でつながる外とつながる ●
		(観光PR用) 山城と川から西播磨の魅力を読みとく ●●●	すごいな、おもしろいなをはじめて実現 ●●●●●		海水浴からスキー場までオールシーズン楽しめる
			“負”とおもうものに挑む“まち” ●●●●●		川の恵み、山の恵み地形の恵みの有効活用 ●●
			古いものを活かし新し時代にあった町づくり ●●		
			古民家活用 (移住により人口増加、西播磨らしいまちなみ保存) ●●		